

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 板櫃 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- 生徒質問調査

生徒質問調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

- 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

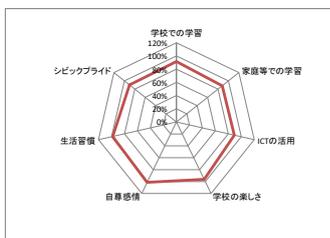
本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

- 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することに関しては、全国平均を上回っている。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の問題においての正答率は全国平均を下回っている。	全国平均正答率との比較	下回っている
	よくなった問題	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題		
	努力が必要な問題	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題		

数学	全体的な傾向や特徴など	「選択式」の問題における正答率が全国平均を上回っている。しかし、評価の観点における「知識・技能」および「思考・判断・表現」に関する正答率は全国平均を下回っている。	全国平均正答率との比較	下回っている
	よくなった問題	複数の集団データの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかの問題		
	努力が必要な問題	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる問題		

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
【よい傾向】（肯定的回答が全国平均を上回った内容） ○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との問いに対して約90%の生徒が肯定的に回答しています。 【努力が必要な傾向】 ○生徒間や教師との関係が、自尊感情の向上へ影響を与えていると考えるが「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的回答が全国平均を下回っていました。学習面の課題解決が影響を与えると考えられるため、今後も学校全体で授業改善を進め、生徒が「わかった」「おもしろい」と思える授業にすることが必要だと考えます。 ○授業におけるICT機器の使用頻度が全国平均を下回っていました。また、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」との問いに対する肯定的回答も全国平均を下回っていました。ICT機器の使用頻度を増やしていく必要があります。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- 教科に関する取組

「主体的・対話的で深い学び」を充実させ、学校での学習が将来、社会に出たときに役立つことを実感させます。さらに、ICT機器の活用を充実させ、一般社会での活用へと繋がる授業づくりに職員全体で取り組んでいきます。

- 家庭生活習慣等に関する取組

家庭での生活習慣は安定していますが、家庭作業の時間が全国平均よりまだ少ないため、定期考査へ向けた計画表での学習習慣づくりを継続しながら、タブレットを活用した家庭学習を行うなど、様々な形で学習の形を推進していきたいと考えています。